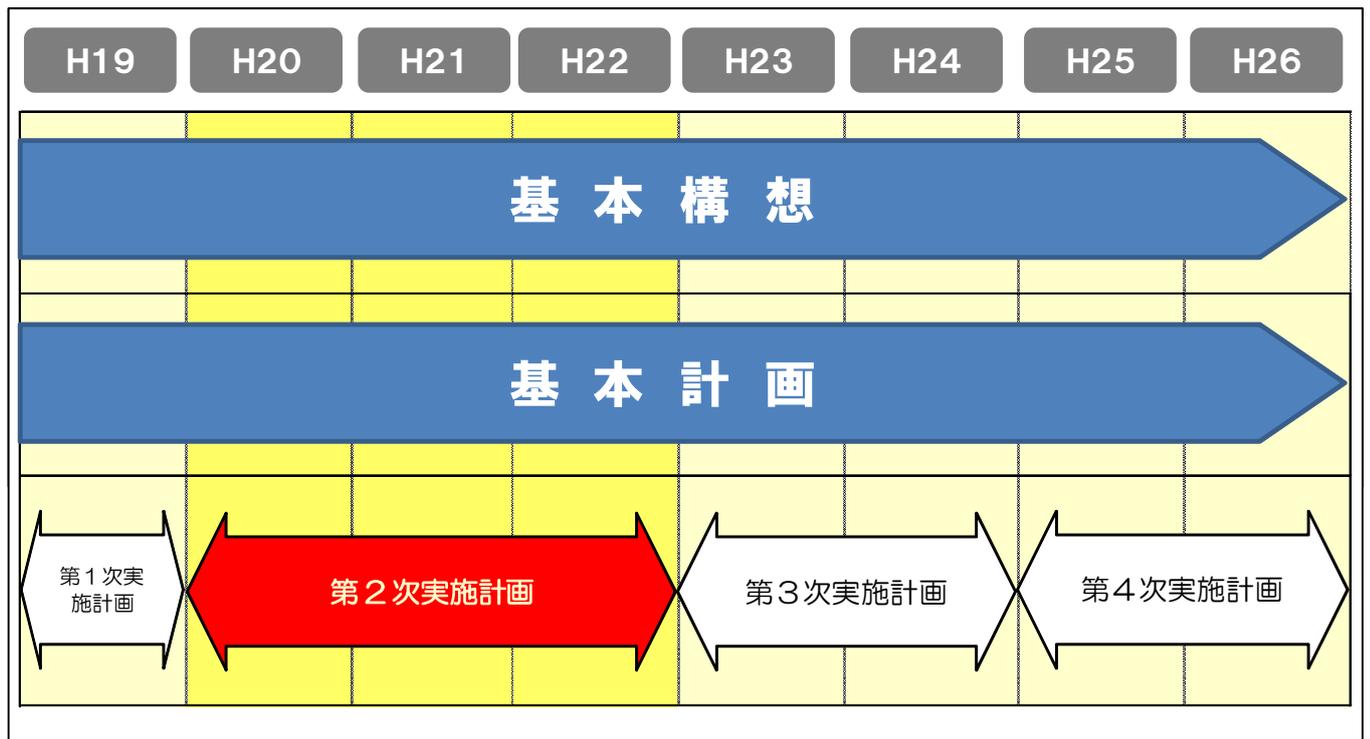


新・新潟市総合計画第2次実施計画 実施状況について

□ 第2次実施計画の位置づけについて

新・新潟市総合計画第2次実施計画は計画本体が目標としている「基本理念」「目指すまちのすがた」「5つの都市像」の実現を目指し、平成20年度から22年度までの3カ年度の具体的な取り組みの概要を示している。



□ 進行管理の趣旨

第2次実施計画で示した数値目標や各主要事業の目標達成のために、毎年度の進行管理を通じて計画の実施状況を把握しながら、効果的・効率的な計画推進を図り、事業実施の効果を最大限に発揮できるよう取り組むものとした。

今回は、平成20年度～平成22年度の実施状況について調査結果を報告する。

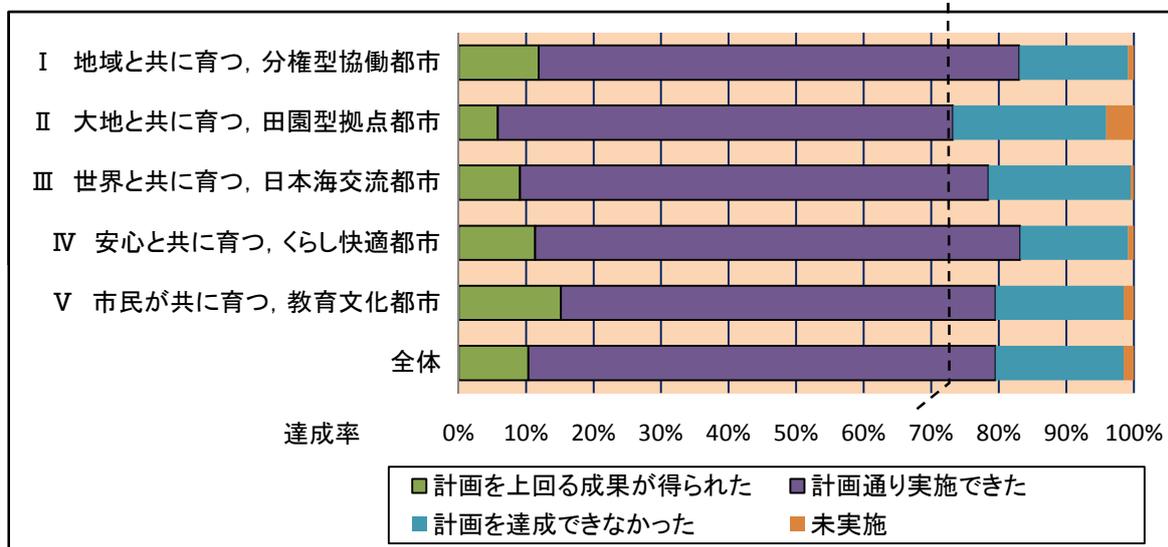
□ 対象事業

新・新潟市総合計画の体系は、5つの都市像で929事業から形成されており、今回は全929事業のうち、国、県事業及び計画期間外の事業を除く869事業を対象とした。

	計画を上回る成果が得られた	計画通り実施できた	計画を達成できなかった	未実施	国、県事業等により対象外	計画期間外
事業数	90	601	165	13	31	29
進行管理対象事業数計	869					
合計	929					

□ 事業実施状況

「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業は5つの都市像すべてが70%を超えていた。



※達成率:「目標を上回る成果が得られた」と「目標通り実施できた」の合計数の「事業数計」に対する割合

(単位:事業数)

実施状況 都市像	計画を上回る成果が得られた	計画通り実施できた	計画を達成できなかった	未実施	事業数計	達成率 (%)
I 地域と共に育つ, 分権型協働都市	14	84	19	1	118	83.1%
II 大地と共に育つ, 田園型拠点都市	10	116	39	7	172	73.3%
III 世界と共に育つ, 日本海交流都市	19	145	44	1	209	78.5%
IV 安心と共に育つ, 暮らし快適都市	27	171	38	2	238	83.2%
V 市民が共に育つ, 教育文化都市	20	85	25	2	132	79.5%
全体	90	601	165	13	869	79.5%

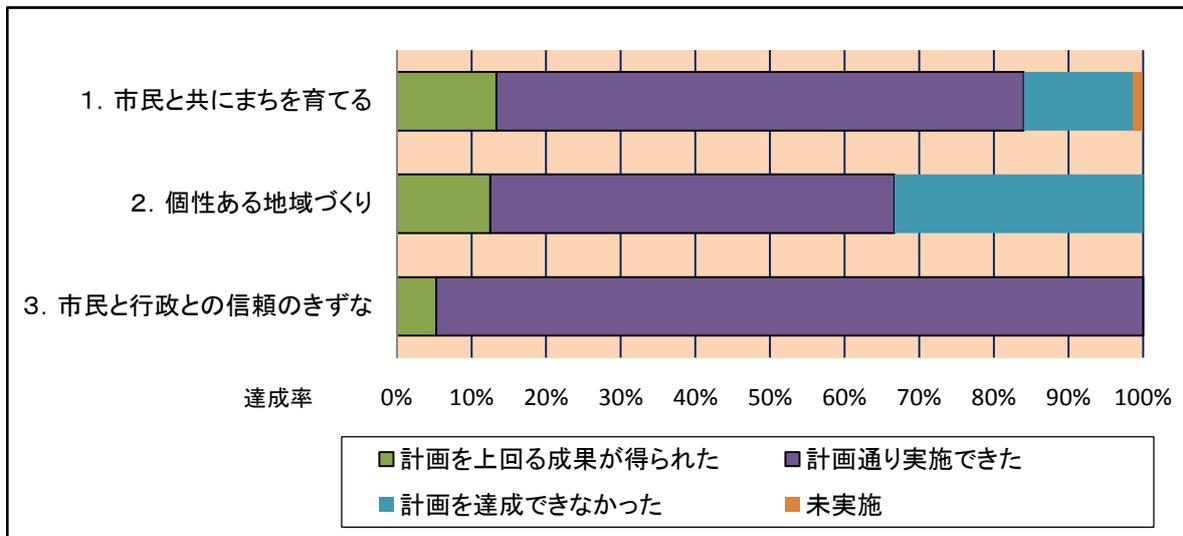
□ 都市像ごとの実施状況

★都市像Ⅰ 地域と共に育つ、分権型協働都市

○ 都市像Ⅰが目指すまちづくり

本市は、全ての市民の人権や能力が尊重され、また市民・地域と行政がパートナーとして互いを尊重し、それぞれの責任を自覚しながら共通の課題に取り組む、協働による自立したまちづくりを目指します。

○ 事業実施状況について



(単位:事業数)

実施状況 政策	計画を上回る 成果が得 られた	計画通り実 施できた	計画を達成 できなかった	未実施	事業数計	達成率 (%)
1. 市民と共にまちを育てる	10	53	11	1	75	84.0%
2. 個性ある地域づくり	3	13	8	0	24	66.7%
3. 市民と行政との信頼のきずな	1	18	0	0	19	100.0%
全体	14	84	19	1	118	83.1%

数値目標と実績

都市像Ⅰ 地域と共に育つ、分権型協働都市

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
1 市民と共にまちを育てる	市民活動支援センター利用登録団体数	283団体	283団体 328団体	300団体 394団体	320団体 457団体
	まちづくり講座受講者数（累計）	788人	918人 924人	1,038人 1,125人	1,158人 1,418人
	男性育児休業取得率	0% (H18値)	— 1.7%	2.0% 1.0%	5.0% 1.4%
	男女共同参画の啓発や人材育成の関する主催講座受講者数（延べ人数）	1,414人	1,200人 1,367人	1,200人 1,216人	1,200人 835人
	男女共同参画推進センター相談室の相談延べ件数	1,091件	1,100件 1,318件	1,100件 1,472件	1,100件 1,656件
2 個性ある地域づくり	にいがた地元学交流会などの参加者数	150人	280人 200人	300人 180人	300人 —
	あるもの探し支援団体数	—	—	5団体	5団体
	地域の素材を活かすアイデアを作る事業実施コミュニティ協議会数	16	24 5	24 1	— —
3 市民と行政との信頼のきずな	「定員適正化計画」を実行することによる職員数の削減（職員数）	7,975	7,867 7,792	7,702 7,593	7537 7573
	「新潟市行政改革プラン2005」を実行し、事業を見直すことによる人件費以外の削減額（百万円）※H16比H17～H21の削減額累計	2,857	4,652 5,124	7,099 8,021	— —

○「市民活動支援センター利用登録団体数」及び「まちづくり講座受講者数」は共に増加傾向にあり、協働のまちづくりへの機運が高まった。又、男性の育児休業取得率は目標値に届かなかった。

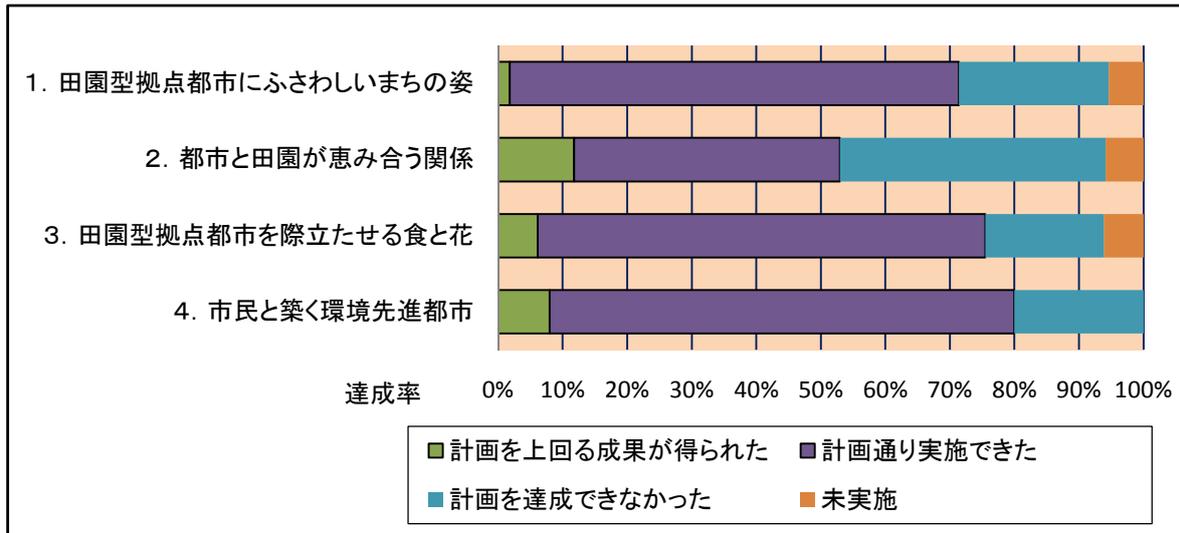
○「にいがた地元学交流会などの参加者数」「あるもの探し支援団体数」については、地域コミュニティ推進フォーラムなどの普及啓発活動への参加者を対象としているが、現在は「水と土の芸術祭」など地元学の手法を交えた事業が多方面で企画・実施されるなど、地元学の考え方を普及啓発する段階から、具体的な事業を展開する段階へ移行しており、上記指標を追いかけず、未記入とした。

★都市像Ⅱ 大地と共に育つ、田園型拠点都市

○ 都市像Ⅱが目指すまちづくり

本市は、日本海側の拠点にふさわしい都市機能と、広大な田園や河川・潟などの水辺や海岸や里山などの自然が調和し、多様な都市型のサービスが受けられると同時に自然の恵みも享受できるなど都市と田園が互いに恵みあうまちであり、今後も「都市と自然・田園が調和するまち」を目指します。

○ 事業実施状況について



(単位:事業数)

実施状況 政策	計画を上回る 成果が得 られた	計画通り実 施できた	計画を達成 できなかった	未実施	事業数計	達成率 (%)
1. 田園型拠点都市にふさわしいまちの姿	1	39	13	3	56	71.4%
2. 都市と田園が恵み合う関係	2	7	7	1	17	52.9%
3. 田園型拠点都市を際立たせる食と花	3	34	9	3	49	75.5%
4. 市民と築く環境先進都市	4	36	10	0	50	80.0%
全体	10	116	39	7	172	73.3%

数値目標と実績

都市像Ⅱ 大地と共に育つ、田園型拠点都市

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
1 田園型拠点都市にふさわしいまちの姿	除草剤散布から草刈やグランドカバープランツへ移行した水路の距離	528m	2000m	3000m	4000m
			1919m	2718m	3516m
	佐潟水鳥・湿地センター年間来場者数	70,000	70,000	80,000	80,000
2 都市と田園が恵み合う関係	水の公園福島潟年間来園者数	150,000	75,094	80,056	70,044
			150,000	150,000	150,000
	食と農の学校の参加者数	19人	60人	80人	100人
3 田園型拠点都市を際立たせる食と花	市民農園（すこやか農園）区画数	1,063区画	44人	71人	81人
			1,063区画	1,200区画	1,260区画
	収穫体験農園（市民ランド）参加数	371組	1,063区画	1,066区画	1,077区画
			425組	530組	530組
	農業サポーターの人数	20人	503組	460組	405組
			30人	60人	100人
	地産地消推進の店認定数	—	40人	130人	185人
50			60	70	
農業体験取り組み学校数	—	49	68	74	
		60	70	80	
4 市民と築く環境先進都市	園芸作物生産額（百万円）	24550 (H17値)	58	94	97
			—	—	—
	食と花の国際見本市来場者数（隔年開催）	589人	—	3,000人	—
			—	3,728人	—
	認定農業者数	2,380	2,416人	3,200人	3,250人
			3,085人	3,137人	3,212人
農業法人数	79	81	110	115	
		119	117	119	
水産物加工品の開発品目数	13品目	14品目	15品目	16品目	
		13品目	13品目	21品目	
4 市民と築く環境先進都市	下水道への接続率	87.1%	87.5%	87.9%	88.3%
			87.7%	88.3%	88.5%
	1人・1日あたり家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大）排出量	673g	550g	500g	500g
			546g	479g	473g
	リサイクル率（資源化量/総排出量）	18.8%	23.0%	25.0%	26.0%
25.7%			27.5%	27.0%	
廃油市民回収リサイクル量（燃料化：L）	7,000L	25,000L	35,000L	40,000L	
		35,000L	34,000L	39,000L	
こどもエコクラブの会員数	300人	300人	350人	350人	
		197人	268人	290人	

○「佐潟水鳥・湿地センター年間来場者数」及び「水の公園福島潟年間来園者数」については、通常どおりイベントを開催したが、猛暑・豪雪などの天候不順等の影響もあり、目標値に達しなかった。

○「農業サポーターの人数」は目標値を大きく上回ったが、一方、「認定農業者数」は、増加傾向にあるものの、米価低落等をはじめとした農業情勢の悪化により、目標値に達しなかった。

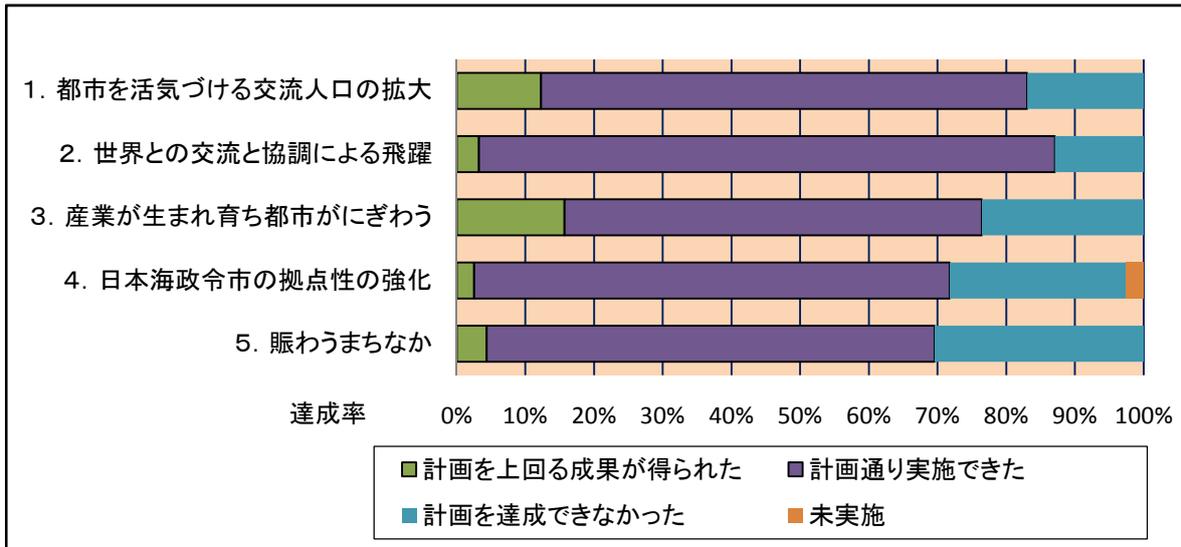
○「1人・1日あたり家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大）排出量」については、平成21・22年度の目標値500gに対し、実績479g・473gと減少傾向にあり、ごみの有料化などの取り組みが進み、目標を達成した。

★都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市

○ 都市像Ⅲが目指すまちづくり

本市は、本州日本海側初の政令指定都市として、北東アジアに向かい合う優位性や高速交通網を活かし、多様な交流を通じて力強く発展するとともに、国内外に貢献する活力あるまちづくりを目指します。

○ 事業実施状況について



(単位:事業数)

実施状況 政策	計画を上回る 成果が得 られた	計画通り実 施できた	計画を達成 できなかった	未実施	事業数計	達成率 (%)
1. 都市を活気づける交流人口の拡大	8	46	11	0	65	83.1%
2. 世界との交流と協調による飛躍	1	26	4	0	31	87.1%
3. 産業が生まれ育ち都市がにぎわう	8	31	12	0	51	76.5%
4. 日本海政令市の拠点性の強化	1	27	10	1	39	71.8%
5. 賑わうまちなか	1	15	7	0	23	69.6%
全体	19	145	44	1	209	78.5%

数値目標と実績

都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市（その1）

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
1 都市を活気づける交流人口の拡大	観光入込客数	1,280万人	1,350万人	1,375万人	1,375万人
			1,392万人	1,420万人	—
	宿泊者数	1,600千人	1,650千人	1,700千人	1,720千人
			1,510千人	1,574千人	—
	外国人入込客数	44,000人	47,000人	52,000人	56,000人
			40,410人	33,540人	—
外国人宿泊者数	33,000人	36,000人	38,000人	40,000人	
		38,320人	30,396人	—	
国際規模のコンベンション開催件数	22	27	27	27	
		30	28	26	
全国規模のコンベンション開催件数	94	96	99	102	
		103	106	101	
2 世界との交流と協調による飛躍	国際交流会参加外国人児童生徒数	16人	16人	16人	16人
			16人	—	16人
国際交流会参加日本人児童生徒数	200人	200人	200人	200人	
		23人	—	30人	
3 産業が生まれ育ち都市がにぎわう	中小企業への事業高度化や販路拡大などの支援数（会社・人）	310件	350件	375件	385件
			368件	474件	1,385件
	賃料補助を受けた独立創業者数	3	3	5	6
			0	2	0
	インキュベーション施設を利用した独立創業者数	1	1	3	3
			1	0	3
	地域商店街年間商品販売額（百万円）	940,963 (H19商業統計)	—	934,843	—
			—	—	—
中高生の仕事感を育てるイベントの体験者数	1,643人	1,800人	1,800人	1,900人	
		1,811人	2,061人	1,915人	
企業誘致数(国内)	10	11	6	6	
		6	2	3	
海外見本市参加企業数	16	18	19	19	
		11	26	22	
4 日本海政令市の拠点性の強化	都市計画道路の整備率	60.5%	61.4%	62.1%	62.6%
			61.7%	61.8%	61.9%
	外貨コンテナ取扱量	161千TEU	—	158千TEU	158千TEU
			157千TEU	143千TEU	168千TEU
	航路数（外貨コンテナ・フェリー）	11	12	12	13
			11	12	13
新潟空港利用者数	1,212千人	1,142千人	1,100千人	1,100千人	
		1,095千人	954千人	942千人	
バリアフリー対応バス導入率	33%	38%	43%	47%	
		39%	44%	51%	

都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市（その2）

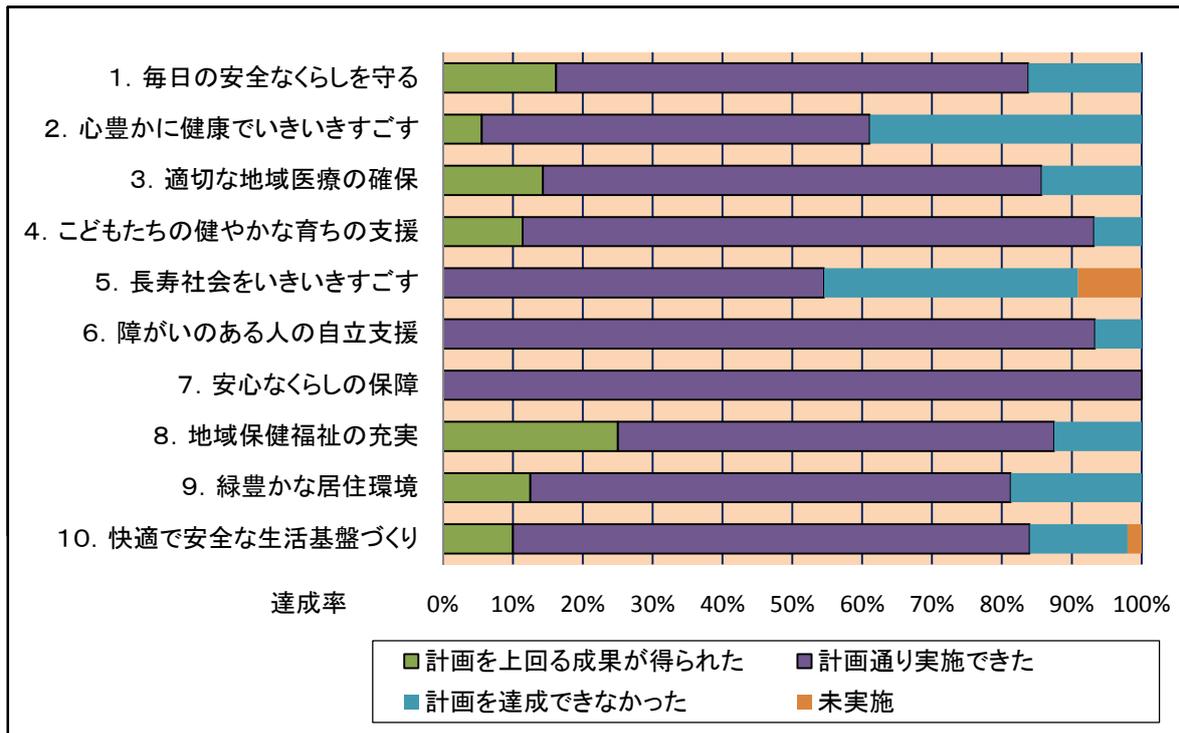
政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
5 賑わうまちなか	優良な都市型住宅の増加 【累計】	459戸	503戸	854戸	984戸
			503戸	754戸	991戸
	万代島市民市場の利用者数	-	-	-	40万人
			-	-	32万人
	古町商店街歩行者交通量（1日あたり）	35,221人	40,100人	40,400人	40,800人
			35,502人	36,796人	28,640人
<p>○「観光入込客数」「外国人入込客数」は、平成22年度から県観光動態調査が新基準（共通基準）となり、10～11月公表予定としているため、未記入とした。</p> <p>○「中小企業への事業高度化や販路拡大などの支援数（会社・人）」については、ビジネス支援センターを開設したことにより、利用者数が大幅に増加した。</p> <p>○「外資コンテナ取扱量」はV字回復し、平成22年は過去最高の取扱量となった。一方、「新潟空港利用者数」は、世界的な景気後退の影響を受け旅行ビジネス需要が減少し、国内外路線において機材小型化、減便及び季節運航化されたため、目標値に達しなかった。</p> <p>○「古町商店街歩行者交通量1日あたり」の減少は、大和撤退の影響が大きいと考えられる。</p>					

★都市像Ⅳ 安心と共に育つ、くらし快適都市

○ 都市像Ⅳが目指すまちづくり

社会がめまぐるしく変化し、日々の暮らしにさまざまな課題が生まれる中、安心・安全でゆとりある生活の実現は、最も基本的な課題であることから、市民・地域・行政のバランスのとれた役割分担の中で、質の高い暮らしづくりを目指します。

○ 事業実施状況について



(単位:事業数)

実施状況 政策	計画を上回 る成果が得 られた	計画通り実 施できた	計画を達成 できなかった	未実施	事業数計	達成率 (%)
1. 毎日の安全な暮らしを守る	11	46	11	0	68	83.8%
2. 心豊かに健康でいきいきすごす	1	10	7	0	18	61.1%
3. 適切な地域医療の確保	1	5	1	0	7	85.7%
4. こどもたちの健やかな育ちの支援	5	36	3	0	44	93.2%
5. 長寿社会をいきいきすごす	0	6	4	1	11	54.5%
6. 障がいのある人の自立支援	0	14	1	0	15	93.3%
7. 安心な暮らしの保障	0	1	0	0	1	100.0%
8. 地域保健福祉の充実	2	5	1	0	8	87.5%
9. 緑豊かな居住環境	2	11	3	0	16	81.3%
10. 快適で安全な生活基盤づくり	5	37	7	1	50	84.0%
全体	27	171	38	2	238	83.2%

数値目標と実績

都市像Ⅳ 安心と共に育つ、くらし快適都市（その1）

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
1 毎日の安全な くらしを守る	刑法犯認知件数	11,054件	10,840件	10,500件	10,500件
			10,795件	9,792件	9,229件
	防犯ボランティア活動参加人員	2,500人	2,700人	3,000人	3,400人
			2,302人	3,304人	3,365人
	自主防災組織結成率	58.6%	64.0%	70.0%	74.0%
			67.2%	72.3%	76.0%
学校施設耐震化率	48.2%	—	66.7%	75.0%	
		61.1%	70.1%	78.3%	
都市浸水対策達成率	51.8%	51.9%	52.2%	52.3%	
		52.7%	53.2%	57.7%	
2 心豊かに健康 でいきいきす ごす	児童生徒の朝食の欠食率	3.0%	2.7%	2.5%	2.0%
	学校給食における地産地消の推進率 (市内産食材数ベース)	11.0%	11.5%	12.0%	12.5%
			14.5%	15.4%	14.7%
3 適切な地域医 療の確保	市民病院患者満足度（外来）の向上	70.0%	70.0%	73.0%	76.0%
			86.0%	89.0%	88.0%
	応急手当講習修了者総数 (普通救命講習以上の受講者)	77,000名	86,000名	95,000名	104,000名
			84,916名	94,821名	101,906名
救急救命士数	119名	125名	131名	137名	
		125名	131名	140名	
4 子どもたちの 健やかな育ち の支援	病児デイサービス実施施設数	3施設	4施設	5施設	6施設
			3施設	4施設	4施設
	平日19時までの延長保育実施園数 (公立および私立保育園合計)	127園	146園	155園	155園
			148園	159園	169園
地域子育て支援センター設置施設数 (公立および私立保育園合計) ※小規模型指定施設の見直し含む	27か所	31箇所	31箇所	29箇所	
		31箇所	35箇所	37箇所	
5 長寿社会をい いきいきすご す	高齢者の生きがいづくりのための講座や講演会等の参加者延べ人数	37,758人	38,800人	39,850人	40,900人
			36,435人	33,737人	32,253人
	新潟市シルバー人材センター会員数	4,982人	5,250人	5,300人	5,350人
			5,023人	5,189人	5,248人
	あんしん連絡システム利用件数	2,305件	2,360件	2,410件	2,460件
2,319件			2,215件	2,086件	
高齢者虐待相談件数（新規）	129件	133件	136件	140件	
6 障がいのある 人の自立支援	こころの健康センター・関係機関における相談件数	9,730件	10,000件	10,000件	10,000件
			11,072件	11,485件	11,863件
	障がい者施設からの一般就労移行者数	18人	27人	36人	45人
			31人	34人	44人
	障がい者向けリフォーム助成件数	79件	85件	86件	88件
78件			88件	91件	

都市像Ⅳ 安心と共に育つ、くらし快適都市（その2）

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
7 安心なくらしの保障	市営住宅の建替えによる入居可能世帯数	24世帯	—	36世帯	58世帯
			—	—	34世帯
8 地域保健福祉の充実	急患診療センター利用者数	36,668人	36,668人	48,000人	48,000人
			36,858人	66,250人	63,876人
9 緑豊かな居住環境	すまいづくり教室の年間参加家族数	74家族	71家族	71家族	71家族
			52家族	167家族	159家族
	市民一人当たり公園面積	10.51㎡	10.53㎡	10.58㎡	10.63㎡
			10.66㎡	10.85㎡	11.00㎡
緑化活動団体数	245団体	250団体	255団体	260団体	
		270団体	285団体	331団体	
10 快適で安全な生活基盤づくり	道路改良率 (幅員5.5m以上の道路への整備の割合)	20.5%	20.7%	20.9%	21.1%
			19.3%	20.9%	21.0%
	中心市街地幹線道路の無電柱化率 (商業地域における4車線以上の道路等を対象)	83.4%	86.0%	90.0%	93.5%
			83.2%	83.2%	83.2%
	交通安全教室実施回数	560回	580回	600回	620回
			661回	669回	724回
下水道処理人口普及率	71.9%	73.8%	75.3%	77.1%	
		73.4%	74.7%	77.1%	

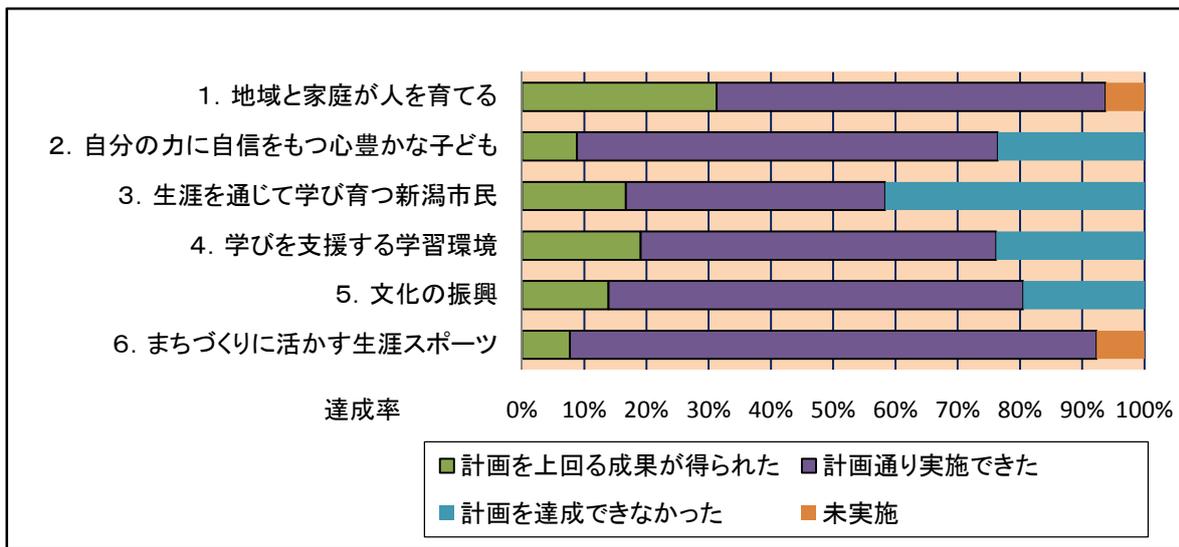
○「学校施設耐震化率」は、工事前倒しにより目標を上回った。
 ○「児童生徒の朝食の欠食率」は学校と家庭の連携を深め、年々減少しているものの、目標値に達しなかった。
 ○「市民病院患者満足度（外来）の向上」においては、御意見箱などを通じ、患者さんの意見を聴き、改善を図ったことが満足度向上に反映されたと考えられる。
 ○「平日19時までの延長保育実施園数」及び「地域子育て支援センター設置施設数」は施設整備等により、目標を上回った。
 ○在宅における「あんしん連絡システム利用件数」については、施設入所等による解約者数が増えたため、利用件数が減少した。
 ○「急患診療センター利用者数」は、新センターを開設により、利用者数が増加した。
 ○「交通安全教室実施回数」が増えたことにより、交通事故発生件数の減少に一定の効果を与えたと考えられる。（平成19年5,249件→平成22年4,007件）

★都市像Ⅴ 市民が共に育つ、教育文化都市

○ 都市像Ⅴが目指すまちづくり

子どもから大人まで全ての人がある能力を磨き、実践できる環境づくりを進めるとともに、地域文化の振興や新しい文化の創出に努め、可能性と創造性に満ちた人々が、育ち活躍するまちを目指します。

○ 事業実施状況について



(単位:事業数)

実施状況 政策	計画を上回る 成果が得 られた	計画通り実 施できた	計画を達成 できなかった	未実施	事業数計	達成率 (%)
1. 地域と家庭が人を育てる	5	10	0	1	16	93.8%
2. 自分の力に自信をもつ心豊かな子ども	3	23	8	0	34	76.5%
3. 生涯を通じて学び育つ新潟市民	2	5	5	0	12	58.3%
4. 学びを支援する学習環境	4	12	5	0	21	76.2%
5. 文化の振興	5	24	7	0	36	80.6%
6. まちづくりに活かす生涯スポーツ	1	11	0	1	13	92.3%
全体	20	85	25	2	132	79.5%

数値目標と実績

都市像Ⅴ 市民が共に育つ，教育文化都市（その1）

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
1 地域と家庭が 人を育てる	地域教育コーディネーターの配置校数	8校	40校	64校	64校
			40校	64校	105校
	ふれあいスクール（子ども型）実施校数	34校	38校	43校	47校
			39校	43校	47校
	ふれあいスクール（公民館出前型）実施校数	4校	8校	16校	24校
8校			17校	35校	
生涯学習ボランティアバンク登録者数	599人	700人 714人	750人 840人	800人 856人	
2 自分の力に自 信をもつ心豊 かな子ども	カウンセラー養成人数	—	—	61人	57人
	集団活動・生活体験活動を推進するジュニアリーダー登録数	12人	50人	50人	50人
			31人	35人	16人
	青少年の「居場所」開設箇所数	15箇所	16箇所	16箇所	18箇所
			16箇所	16箇所	17箇所
	国際子どもフォーラムに参加し、有意義だったと感じた子どもの割合	94%	94.0%	94.0%	94.0%
			100.0%	—	100.0%
中高一貫校の開設（高志中等教育学校）	—	設置（11月）	開校	—	
		開校（11月）	開校	整備	
幼・小・中一貫教育推進モデル中学校区（校区）	2	5	8	16	
		5	8	26	
3 生涯を通じて 学び育つ新潟 市民	生涯学習相談ボランティア数	29人	40人	40人	50人
			29人	24人	21人
	にいがた市民大学受講者数	567人	600人	600人	600人
			508人	506人	406人
アクティブシニア講座等受講者数	63人	100人	100人	800人	
		171人	190人	801人	
4 学びを支援す る学習環境	学校施設の大規模改修達成率	32.4%	40.0%	47.7%	55.5%
			38.4%	44.3%	51.6%
	教育関係職員向け研修プログラム受講者の満足度	70.0%	75.0%	80.0%	80.0%
			80.0%	82.0%	84.5%
	学社民融合研修受講者数	406人	600人 468人	600人 525人	600人 1,104人
オンリーワンスクール実施校累積	11校	11校	20校	20校	
		11校	20校	20校	

都市像Ⅴ 市民がと共に育つ，教育文化都市（その2）

政策	主な指標	H19	H20	H21	H22
			計画		
			実施		
5 文化の振興	にいがたマンガ大賞応募作品数	294作品	300作品	310作品	310作品
			340作品	347作品	336作品
	美術館入館者数	131,326人	132,500人	137,850人	143,200人
			239,649人	139,058人	110,236人
	市民芸術文化会館 コンサートホール稼働率	83.3%	78.0%	80.0%	80.0%
			84.6%	83.3%	90.7%
市民芸術文化会館 劇場稼働率	75.3%	84.0%	85.0%	85.0%	
		77.6%	81.7%	90.7%	
市民芸術文化会館 能楽堂稼働率	51.6%	57.0%	60.0%	60.0%	
		39.8%	55.7%	42.1%	
歴史博物館企画展等観覧者数	24,597人	23,800人	23,800人	23,800人	
		22,977人	8,576人	25,403人	
6 まちづくりに 活かす生涯ス ポーツ	新潟マラソン申込者数	5,473人	6,000人	6,300人	8,000人
			6,353人	6,500人	9,058人
	国体出場選手における本市出身選手の割合	42.7%	43.0%	45.0%	46.0%
			39.7%	47.7%	47.4%
	プロスポーツ選手等へ接する機会を提供するふれあい 事業参加者数	9,934人	9,500人	9,000人	9,000人
			6,283人	6,974人	6,323人
国際大会等開催数	5	7	5	5	
		7	5	5	
スポーツ振興会事業実施数	376	400	400	400	
		388	408	485	
<p>○「地域教育コーディネーターの配置校数」の増加を図り、地域との結びつきを深めた。</p> <p>○「にいがた市民大学受講者数」は、周知に努めたものの、目標値に達しなかった。</p> <p>○「学校施設の大規模改修達成率」については、耐震化工事を優先したことにより、目標値に達しなかった。（学校施設耐震化率は向上）</p> <p>○「市民芸術文化会館 コンサートホール稼働率・劇場稼働率」及び「歴史博物館企画展等観覧者数」はそれぞれ増加し、「新潟マラソン申込者数」については、榎谷小路、萬代橋等の市街地を走る新・コースに変更したことで、大幅に増加した。</p>					